

【令和5年度】

海士町 島を遊びこむ

『お山の教室』のご案内



『お山の教室』は“森のようちえん”形式の認可外保育園(H30年認定)です。幼児が自然の中で様々な経験を重ね「生きる力の土台を育むこと」を目的としています。平成28年より、海士町教育委員会からの委託を受けNPO 隠岐しぜんむらが運営しています。

開園日	月曜日～金曜日
時間	(8:00 受け入れ開始) 9:00 スタート ～ 17:00 終了 (17:45 お迎え完了)
対象	満3歳から小学校入学までの幼児 ※基本誕生日を迎える月から入園可能
定員	14名
入園の条件	・おむつがはずれていること ・野外活動が可能であること(山道を歩く、海で遊ぶなど) ・お山の教室のお約束である「大人の見える場所で遊ぶこと」が理解でき、守ろうとする姿勢が見られること ・入園前に親子で体験(一回)していること
活動場所	金光寺山(時々、海、里、田んぼ、地区におでかけ)
服装	夏も含めて基本長袖、長ズボン(虫さされ防止、草木が直接肌に当たらないように) ※スズメバチ対策のため、夏～秋にかけては黒い服、黒いリュック、黒い帽子は厳禁
持ち物	お弁当(週3回)、水筒、おてふき、帽子、着替え2セット、ビニール袋3枚、レジャーシート、軍手、ハンカチタオル、ポケットティッシュ、上下雨具(ズボンタイプのもの)、連絡ノート、連絡袋 他
食事	お弁当持参(週3回)、給食または野外クッキング(週2回)
休み	GW、お盆、年末年始、年度末、10月末(研修のため)、気象状況(警報発令等)により野外活動が困難と判断した時



保育内容

○自然の中で過ごすことを大切に

天気の良い日はもちろん、雨の日や雪の日も屋外で過ごします。変化が大きく、制限のない自然の中で遊ぶことで、子どもたちが無限の遊び方ができます。「遊びは学び」の考えのもと、無限の遊びができる自然の中で「遊びこむ」ことは様々な学びや体験をし、様々な力(P2 図:生きる力の土台)が養えると考えています。

○見守る保育（スタッフの関わり方について）

お山の教室の大人は「先生」ではなく見守り、寄り添う人、必要ときに支援をする人です。何かを与え何でも教えるのではなく、子どもたちの気持ちや考えを尊重して見守り、待ちます。その中で子どもや状況に合わせて声かけや支援、応援などをおこないます。

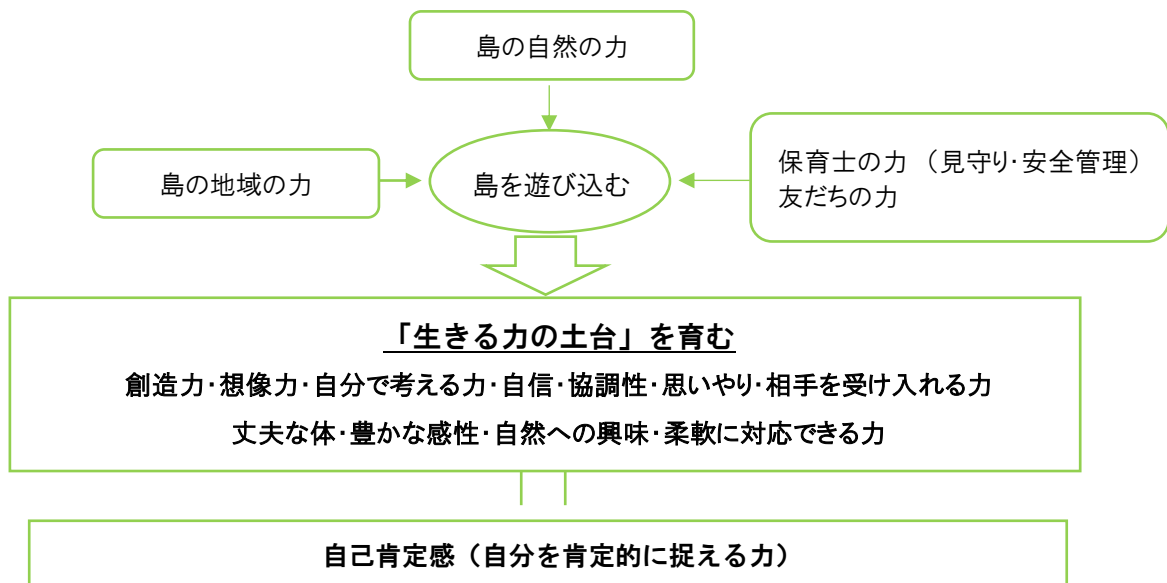
また、子どもたちが安全に遊びこめるよう、次に起こる可能性を予測し、いつでも手が差し伸べることができ支えるように用意して備えています。スタッフの人数は、子ども一人の世界や子ども同士の世界を大切にしたいので、安全確保がきちんとできつつも、大人が影響を与えすぎないよう人数に配慮しています。（基本的にはスタッフ1名に対して子ども6名までです。）

○気持ちを大切に

子どもたち一人一人の気持ちを大切にすること、それは怒ったり、悲しんだりすることを含め子どもたちの気持ちを否定せずありのまま受けとめることと考えています。更に、自分の気持ちが尊重されている経験をする中で、相手の気持ちを尊重できるようになると考えています。

○島まるごとフィールド

海士町島内には14地区あり、毎月地区を決めて週1回程度おでかけします。地区の自然や田畑、神社、おもしろい場所へ行き、おじいちゃん、おばあちゃんと交流したり、島の日々の暮らしに触れたりしています。夏場はたくさん海に行きます。こうした経験が自分たちの育った島を好きになってくれると期待しています。



お山の教室の「お約束」例

- ① 大人の見える場所で遊ぶ
- ② 葉っぱや実など食べたいと思ったら大人に聞く
- ③ 枝を人の顔に向けない
- ④ 毛虫やへびは基本触らない
(安全を判断すれば OK)
- ⑤ 木登りするときは大人に声をかける



一日の流れ

時間	保育
8:00	受け入れ開始
9:00	全員集合
	○「はじまりの会」(絵本、はじまりの歌・今日やりたいこと、みんなに伝えたいこと) ○自由あそび
12:00	○昼食(お弁当/野外クッキング/給食) ○歯磨き・着替え ○「ふりかえりの会」(絵本、体調の確認、ふりかえり)
13:30	○お昼寝
15:30	○おやつ ○自由あそび(室内で工作遊び・野外遊び) ○「さよならの会」(手遊び、絵本、さよならの歌)
17:00	終了
17:45	お迎え完了

子どもたちの年齢や状況にあわせて変更することがあります。



週の流れ

曜日	内容
月曜日	お山で自由遊び お弁当
火曜日	お山で自由遊び 給食
水曜日	お山で自由遊び 1 学期:給食 2 学期以降:クッキング
木曜日	お山で自由遊び お弁当
金曜日	おでかけ お弁当



入園にあたっての心構え

メインスタッフは保育士や幼稚園教諭など有資格者であり、且つ、リスクマネジメント研修を受けたスタッフが子どもたちを見守ります。野外において子ども自身が自分で注意することができるように、季節ごとに気をつけること、触ってはいけないもの、口にはしてはいけないものなどを繰り返し教えます。

安全に関しては万全を期しておりますが、子どもの大きな喜びとなる自由な行動はできる限り認めたいと考えており、野外活動の性質上、すり傷、切り傷、虫刺されなどは避けられません。私たちは小さなケガは大きなケガを予知・予防するために必要な経験と考え、子どもが自分で危険に気づき回避する力を育てたいと考えています。

万が一、大きな怪我や事故などが起きた場合には、保護者の方に連絡し、緊急の場合には、応急処置を施し医療機関へ取り次ぎます。

活動上フィールドがその日によってかわることもあり遅刻の対応がしきれないため、原則遅刻は受け入れていません。通院時の遅刻のみ(9:30 まで、もしくは 13:00)受け入れています。また、子どもたちの早退も子どもたちの活動の流れを考慮して、指定の時間(お昼寝前・お昼寝後など)のお迎えとなります。

活動の性質上、服が汚れることや靴が濡れることがあります。使用する靴や服の数も多くなりがちで、洗濯など保護者様のご負担も増えることとなります。また、お子さんが身体的、精神的に野外活動が可能な状態でない場合、お預かりできないことがあります。「お山の教室」は一般的な園とは異なる点がいくつかあり、保護者様の覚悟が不可欠だと考えております。しかし、その分お子様が自分の力でおもいきり遊びこむことで成長できる貴重な場であると、自信を持って言えます。

「お山の教室」の趣旨をご理解いただき、ご賛同していただける方の入園をお待ち申し上げます。



保険

傷害保険に加入しています。

死亡保険金・・・500万円

入院保険金・・・日額5,000円

手術保険金・・・入院時の手術の場合、入院保険金額の10倍それ以外の手術は5倍

通院保険金・・・日額3,000円



料 金

・月謝・・・・・・37,000円

・年会費・・・・ 1,000円

・食費・・・・・・ 300円(月額) 給食・クッキング・おやつ代として

【幼児教育・保育の無償化について】

・令和元年10月からの幼児養育・保育の無償化については、お山の教室は認可外保育園の認定を受けているため、無償化の対象施設となっております。

・無償化の対象園児は令和4年4月の時点で3歳以上になっている子どもが対象です。

・保護者の方は「保育の必要性の認定」を受ける必要があります。

・住民税非課税世帯の0歳から2歳児までのお子さまも対象となります。

詳しくは、海士町健康福祉課にお問い合わせください。

【食費(給食・野外クッキング・おやつ)について】

海士町から副食費の補助がでています。主食費の月300円のみ別途かかります。無償化の対象となりません。

【海士町内の認可保育所の費用軽減について】

《第3子以降の保育料軽減》

第3子以降のお子さまが認可保育所へ入所する場合は、保育料は無料となります。

《多子軽減》

同一世帯から同時期に2人以上の児童が認可・認可外保育所に入所している場合は、認可保育所の保育料額に軽減があります。

1人目:基準保育 ・ 2人目:基準保育の1/2 ・ 3人目:無料

詳しくは、海士町健康福祉課にお問い合わせください。



入園の手続き・選考について

※入園申込は年度ごとになります

新規の方は、入園の条件(P1)を満たし「親子体験会」の参加後、入園申込書の受付をしております。入園申込書を提出後、決定通知をもちまして次年度の入園決定となります。

日付	内容	提出書類
10月14日(金)	継続園児 申込書締め切り	
10月17日(月)	新規園児 募集	
10月25日(火)・11月8日(火) 11月10日(木)・11月22日(火)	新規園児 親子体験会	
12月2日(金)	新規園児 入園申込書 提出 締切日	●入園申込書
12月8日(木)	決定通知 (口答・メール) 後程、書面をお送りします。	
2月中旬	入園説明会 【幼児調査票】【誓約書】を提出 ※新規の方は個別にお子様のヒアリングをさせていただきます	●幼児調査票 ●誓約書
4月3日(月)以降	入園	

※令和5年4月時点で3歳未満のお子様の入園の場合

10月・11月の体験会に参加し、お子さま・保護者さまがお山の教室に納得していただき、入園申込書を提出していただければ、受諾いたします。入園については生まれ月など配慮してご相談させていただきたく存じます。

3歳になったばかりのお子様に関し、入園1カ月前のところでもう一度親子体験をしていただいております。このぐらいのお子様は成長が著しく、また様子が変わっていることがあるという理由からです。

【選考について】

万が一、定員を超えた応募があった場合、下記の定員数で、定員数が満たない学年を優先とさせていただきます。また年長・年中・年少が優先となり、空きがあれば未満児(2歳児)も入園できます。

- 年長(5歳児) 4名
- 年中(4歳児) 4名
- 年少(3歳児) 4名
- (未満児(2歳児) 2名)

お山の教室の様子は…

▶facebook 隠岐しぜんむら ▶ホームページ <http://ama-morinoyouchien.com/>

【問い合わせ】

NPO 法人隠岐しぜんむら 大林 TEL/FAX:08514-2-1313 Mail:amanooyama@gmail.com